

リーディングDXスクール事業【実践事例】

荻田町立新津中学校（指定校）

【取組内容】① 生徒が**学習形態を選択**して課題を解決

3年国語「自らの考えを」



学習形態(個人・協働・先生に聞く)は**自分で選ぶ**



主眼： 二つの文章を観点を立てて比較して読むことができる。

めあて： 観点に沿って内容を表にまとめることで、二つの文章を比較しよう。

事例→考察		松原さんのほう！		立場	観点	二つの文章を比較し、共通点や相違点を確かめよう
人工知能が学習するにつれて、人間の側も人工知能から学ぶ。人間と人工知能が共に生きる時代の新しい関係がそこにあるように思います。		膨大な情報をどのように処理してわからないのが現状です。人間には		消極的	賛成	
評価を適切にこなすためにさまざまな経験を積んでバランスの知識をもち、何がよくてそれが、これからの時代にあるべき姿である。		人間は自由発想しよう。人間は各数字の出現頻度を生じてしまう。		積極的	賛成	松原さん

<https://drive.google.com/file/d/1XGqC-dF-Ev1XME28qUSUo4ORfF7Ssoq6/view?usp=sharing>

デジタルノート（クラウド）で配布したワークシートに縦書きで入力。
共有→閲覧・参照→対話